

《問題提起・現在のリーダー会の現状と問題点》

- ・ 限られた団・地区からしかリーダー会へ参加していない。
- ・ ジュニアリーダースクールの活用が指導者の理解不足で円滑になっていない。
- ・ リーダー会の継続の難しさ。
部活動との兼ね合いで、リーダー活動が続けることができない(卒団してしまう)。

< 解決策 >

- ・ 長期的対策プランとして、リーダーについての指導者・保護者の理解不足の解消。



リーダーの発掘へつながる

- ・ 短期的対策プランとして、リーダー会へ活動の場の提供。



リーダーの育成へつながる

《指導者と保護者の理解不足の解消・解決案》

- ・ 手紙を団代表、保護者代表へ送付する。



リーダーを知ってもらう事ができた。(開拓)

指導者だけではなく、保護者へもアプローチすることで連絡が指導者で止まるのを防ぐ

- ・ Jr リーダースクールの参加者、その保護者へオリジナルパンフレットを渡す。
- ・ 地区単位団へ講習会の案内を送付し講習会を開催する。
- ・ 小・中の校長会と本部の意見交換会を行い、学校と連携。
- ・ リーダー会の年間行事表を本部を通し単位団へ通知。
- ・ 案内などが単位団まで行っているか確認する必要がある。

《リーダー会へ活動の場の提供》

- ・ リーダーが単位団へ訪問。
- ・ リーダー会主催の行事（キャンプ）を開催。
- ・ リーダーが参加者と連絡を取り合う。
- ・ 市、地区でリーダー主催の交流会。

< 解決案 >

- ・ リーダーが活動をしている姿を直接見せることで、参加者がリーダー会へ加わることにつながる。また、リーダー自身の経験や意識を向上させることができる。
- ・ 単発の開催ではなく、継続性のあるものにする必要がある。

2つの解決案ともに県単位で行うのではなく、市や地区単位で行うことで取り組みやすくその効果も大きいのではないか。